

かまくらかいどう こふん もり  
鎌倉街道と古墳の森の **キツネ** のおはなし



むかしむかし、川角にお松さんという娘がいました。

お父さんに用事をたのまれ、となり町の親せきまで

自転車で行ってきました。

帰りは日もくれて、鎌倉街道を通るころには

まっ暗になってしまいました。

お松さんは

まっくらでこわいなあ・・・

でも鎌倉街道を通らないと帰れない

道がよく見えないから歩いていこう

といって自転車をおりました。

川角と大類の鎌倉街道のあたりは

「オトウカヤマ」といい、キツネがたくさんすむ

森でした。

鎌倉街道の庚申様の石の塔がある大きな松の近くに

さしかかると、何か大きな白いものが前を横切りました。

あっ！ キツネだ！

と声をあげると、お松さんはしりもちをついてしまいました。



